

正富汪洋 まさとよ わちやう 詩人、歌人、評論家。明治十四年四月十五日岡山縣
 生れ、昭和四十一年八月十四日没（八二—一九七）。本名由太郎。筆名
 むらぐさの女史、春燭房、横山丈太、汪、汪洋醉人、汪生等。明治二
 八年哲學館卒。東亞外語專門學校教員、青山學院圖書館囑託など。在
 學中尾上紫舟中心の金箭會、次々重前草社同人。のちまじろ雜誌『東洋
 哲學』の編輯、大正七年『新進詩人』創刊主宰。戦後日本詩人クラブ
 理事。妻は與謝野寛（鐵幹）の前妻林瀧野。

著書、詩集『新體』、『復心』、『命木灯花』、『清水橋村合著、明治二十八年
 八月七日光世堂』、『戀のゲエテ』、『大正九年五月—二十五日洛陽
 堂』、『ロゲエテとシルル』、『大正十年二月—日洛陽堂』、『汪洋新
 詩集』、『大正十一年一月—十八日自票分店』、『傑作選集』、『合著
 ・大畑匡山編著、大正十一年六月五日岡村書店』、『天才バイロン』

（大正十一年七月四日新光社）、『世界の民衆』、『大正十四年一月
 —二十五日新潮社「現代詩人叢書」』、『詩聖ゲエテの戀愛』、『大正十
 四年十一月七日文芸堂書店』、『詩人スウインバーン』、『昭和二年十
 月—二十一日新進詩人社』、『世界維
 新論』、『世界建設
 運動の提唱』、『昭和八年一
 月—日』、『歴史論』、『新洋流附録』、

『新日本
 詩選』、『愛國の詩』、『合著・村上
 安太郎
 文介編、昭和十八
 年四月—二十五日大阪・大和出版社』、『御橋われら
 一青年朗詠詩集』、『合著・詩人同志會編、昭和十八
 年八月十五日旺文社』、『歌集』、『よもとのたまひ』、『昭和十九年二月十



年八月十五日旺文社）、歌集『よもとのたまひ』、『昭和十九年二月十

『五七詩と歌謡の社』、『主動性東亞』(昭和十九年五月十五日詩と歌

謡の社)、『明治の青春(與謝野鉄幹とめぐむる女性群)』(昭和二十

年九月二十日北辰堂)、『文學談叢

・初集』(合著・白木詩人クラブ編、

昭和二十一年十月十日各妻書房)、

『詩歌抄 可浅みどりの空(附英訳)』

(昭和四十一年二月二十日北辰堂書

店)、『蟲子の恋と詩』(昭和四十一年十月十日山王書房)等。

